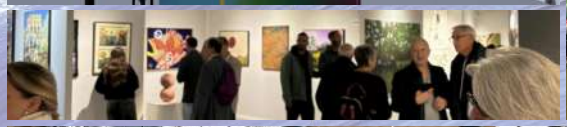
JAPAN INTERNATIONAL ARTISTS SOCIETY

JIAS 日本国際美術家協会

（ジアス）

2026 年、JIAS 会員に贈るエール

2026年
臨時特集号



～概要～

- 2025年＜JIAS＞会員トピック
- 日本・フランス現代美術世界展　協賛会社のご紹介
- 第38回パリ国際サロン　大賞受賞者インタビュー
- 第26回日本・フランス現代美術世界展　大賞受賞者インタビュー
- JIAS会員および2025年受賞者作品紹介
- その他活動内容等ご報告、お知らせ

アートへの追及や希望に応え続けるＪＩＡＳ作家の皆さまへ

JIAS 会員の皆さまにおかれましては、日頃よりアート作品の創作に打ち込んでおられることと存じます。
アートにおける独創性は、今まで見たことのない個性の具現化です。個性は、創造を繰り返してユニークに磨かれ、表現されていきます。このような、優れた作品を日本において、さらに世界へ発信することを念頭に、JIAS ／欧美の活動を進めており、お陰様で、作家の皆様の作品を通じ、海外の著名な作家達、美術評論家、アートプロモーターなど様々なアート関連のスペシャリストと日々、意見を交換する機会にも恵まれております。

昨今、特に、幅広い個性を有する皆さまの作品が、様々な専門家からどのように見えているのかをフィードバックできるよう、入賞のジャンルに工夫を凝らしており、そのために審査員の注目点を細かくヒアリングしたり、所定の審査員に加え適任者よりコメントを頂戴したりしています。作家の個性とそのアート作品の性質が多様に評価されることを望んでいるから。アート作家の持つ個性やユニークな価値ができるだけ反映されるように。
賞審査などの結果は、公式ホームページや機関誌臨時特集号を通じて会員や作家の皆様に共有できるよう務めております。受賞作家のインタビューなどでは、作家それぞれが、人生におけるアートへの取り組み、創作における個性的なプロセスを紹介してくださっています。経験・努力・人生そのものが語られており、作家仲間には有意義なものになっていると信じています。
また、このようなインタビューや講評は、アート活動を進めていく上での、羅針盤になることでしょう。それぞれの作品の方向性は異なっても、自分以外の作家がどのように創作活動を行っているかを知ることは、作家にとって必ずや個々人到達へつながるはずです。

最後に、JIAS が主催する「日本・フランス現代美術世界展」は年々、国内のみならず海外からの応募も増えております。当協会への新規加入者も後を絶たない一方、ベテラン会員が高齢化で筆を置かざるを得ない状況もあり、退会者の純減もみてとれます。JIAS 会員の皆さまには、共に歩みを進めてくださる作家さまがいらっしゃればぜひ、ご紹介ください。
本特集号が、皆さまのさらなる創作活動、唯一無二の作品、創作への衝動となることを願っております。

代表　馬郡文平
JIAS 日本国際美術家協会
欧州美術クラブ

ＪＩＡＳ 日本国際美術家協会

JIAS は欧州美術クラブの世界美術文化交流並びに啓蒙運動の象徴体として 1981 年 1 月 1 日に発足した非営利団体です。JIAS 会員及び JIAS 関連展覧会は、絵画・書・工芸のジャンルに留まらず、国際的観点を持ち、個性的・独創的に活動を続ける多様な作家を幅広く対等に受け入れています。我々 JIAS は単なる画一的な集団ではなく、展覧会を通じた様々な国際的アート活動により、更なる世界的拡がりを続けるべく前進し続けます。

2025 年＜ JIAS 会員＞トピック

銅賞受賞おめでとう！
ル・サロン 2025
べい米翔さん

「人権」
顔料インク
78.5 × 59.0 ｃｍ

2025 年 2 月に開催されたフランス芸術家協会主催「ル・サロン 2025」にて、当協会員べい米翔氏がめでたく『銅賞』を受賞された。顔料インクによる点描表現の担い手である氏は、2010 年より当協会員として、2017 年よりフランス芸術家協会準会員、翌年にはサロン・ドトーヌ協会員としても、国内外で積極的にアート活動に従事する。

栗原光峯さん、ライブ・パフォーマンスで称賛！
サロン・ドトーヌ 2025

2025 年 10 月に開催された「サロン・ドトーヌ 2025」にて、書家の栗原光峯氏がライブ・パフォーマンスで称賛を浴びた。これは、同展が位置付けられた現代の世界的課題のひとつ「海洋保護の世界的プログラム « La Mer en Commun (共有の海) » の一環として企画され、氏も海洋をテーマに作品を揮毫。2016 年に当協会員に、2024 年にはサロン・ドトーヌ協会員として精力的に活動中。

「日本・フランス現代美術世界展」協賛会社ご紹介

当協会が主催する「日本・フランス現代美術世界展」はお陰様で、来年 2026 年で第 27 回を迎えます。 これまで長きに渡り、本展趣旨に賛同し、協賛賞ならびに副賞をご提供・支援してくださっている協賛会社 4 社に加え、第 27 回展よりあらたに 1 社にご協賛いただくこととなりました。

NEW!! 新たに参画してくださいました

箔座株式会社

箔座 HAKUZA

『“箔がそこにある”未来をつくる』を企業理念に掲げ、金沢伝統箔「縁付」の技を継承、国宝や重要文化財の存続に貢献する。箔に、人に、仕事に、しっかりと向き合うことで質の高いものづくり、発信、サービスの実現を目指す。現在、400 年もの歴史をもつ「縁付金箔」の製法と、昭和 45 年頃から導入された「断切金箔」の製法で、「箔」の需要に応え続けています。

URL：https://www.hakuza.co.jp/

長きに渡り、作家の皆さまを支援してくだる協賛会社 4社

株式会社大日本美術工芸　マイメリ日本総代理店

MAIMERI

油絵具や透明水彩絵具などの優れた芸術用品を日本国内に輸入・卸売し、全国の画材店を通じて提供。イタリアの高級画材メーカー「マイメリ（Maimeri）社」の日本総代理店を担う。イタリアの画家ジャンニ・マイメリによって創設されたマイメリ社は、伝統的な製法と厳選された顔料を用いた最高品質の画材で世界中のアーティストから高く評価されており、マイメリクラシコ（油絵具）やマイメリブルー（透明水彩絵具）などで知られる。大型画材店「世界堂」「青葉画荘」「ゆめ画材」などで販売しています。

株式会社クサカベ

KUSAKABE

絵具づくりを通じ、人々の生活を豊かにする芸術・文化の創造に深く関わりをもって、彩りある未来創造パートナーを目指す。オリジナルの油絵具や水彩絵具、アキーラ絵具など各種絵具をはじめとする顔料、こだわりの紙など、習作用から専門家用まで、利用者の用途やニーズに合わせて使い分けできる多彩な画材のラインナップを有しています。

URL：https://www.kusakabe-enogu.co.jp/

マルマン株式会社

maruman　CANSON

「紙」にこだわり 100 年あまり。国産で 13 種類ものオリジナル用紙を製造できるのは、技術と伝統と徹底した紙へのこだわりがあるからこそ。フランスの名門製紙会社のキャンソン社や、200 年以上の歴史を誇るドイツの鉛筆・色鉛筆メーカー リラ社の日本代理店も担い、子どもから専門家まで、様々な要望に応える画紙を提供しています。

URL：https://www.e-maruman.co.jp/

株式会社生活の友社　美術の窓

美術の窓

1982 年より月刊誌として創刊された「美術の窓」。作家と美術愛好家のパートナーとして、現在日本で活躍するアーティストの作品やその技法などを紹介する。創刊当初からの「自身で観て歩き、作家を発掘すること」をモットーに、美術館、百貨店、画廊などで開催する展覧会情報も網羅。今なお、根強く愛される美術月刊誌です。

URL：https://www.tomosha.com/

第38回 パリ国際サロン 2025　大賞

大賞受賞インタビュー：加藤　由利子　　KATO　Yuriko

大賞受賞作品　加藤　由利子　「時を飾る」日本画　80.3 × 116.7

パリ バスティーユ　天井から光が差し込む会場

パリ バスティーユ　天井から光が差し込む会場

＜大賞受賞について、率直な感想をお聞かせください＞

まさか大賞を頂けるとは思っていませんでした。通知を見たとき飛び跳ねるほど嬉しかったです。
自分の作品がフランスで評価されたことは、自信につながり、新たな作品に意欲が湧きました。

＜受賞作品制作時のエピソードをお聞かせください＞

私なりのフランスのイメージを作品にしてみました。中心の牡丹の花、脇にある菊の花はツバサを表し、周囲にある帯は風を表現。色彩はフランスの国旗に使われている赤、青、白を基調。「静寂な風景と柔らかな色合いが織りなす空間を描き、夢の中にいるような感じ」。花の美しさを大切に柔らかな花びら、きめ細やかな花の表情に気を配りながら作品を仕上げました。

＜ご自身にとっての日本画とは？＞

色々な画材を試しては使っていくの繰り返し。最終的にたどり着いたのが「日本画の画材」。自分自身にあった「オリジナル」を引き出せる可能性が面白く、発想が次々と湧いてくる。色の美しさより色の奥深さ、乾かした時の色の変化が楽しい。自分の「オリジナル」作品に沢山の色を引き出して「華」のある作品を創造していくことを大事にしています。

＜制作スケジュールや1日のルーティーン、絵を描くこと以外で長年続けていることがあればお聞かせください＞

作業をする場所をキレイにして新たな気持ちでイメージから始める。描きたいことがあれば楽しみながら仕上げていく。個展は1年に1回開催する。

＜海外の国際公募展でもご入選されています。国内と海外、応募に際し、作品制作の違いは？＞

国内では、精密に描かれた作品と共にイメージや色も落ち着いた感じ、変化を望まずに。ただ色の奥深さが感じられるように。海外向けには自由な発想、派手さの中に落ち着いた感じ、色や作品の変化を望む。色の奥深さより、個性、未来への可能性をカタチにする傾向があります。

＜本展や「サロン・ドトーヌ」「ル・サロン」といった海外公募展に挑戦してみたいと思っている方へのアドバイスなどあればお聞かせください＞

「挑戦してみたいと思ったら、すぐ行動してください。」
自分の可能性に制限をかけずに色々なモノを自由に描いていけば自分だけの「オリジナル」になる。取材して写真を撮ったり身近なものを写生したり楽しく描いていけば「苦」ではないはずです。

＜今後の目標や抱負、挑戦してみたいことなどは？＞

沢山ありすぎて。やりたいことは「無限」です。日本画の画材と共に作品を極めていきたい。自分が苦手としているものを積極的 に取り入れ…これからの挑戦は「今」です。

＜これまでの作品の展示風景＞

加藤　由利子　プロフィール

静岡県生まれ。JIAS 会員 / ル・サロン準会員
1998 年京都成安造形大学日本画専攻科卒業後、現在までデザイン的な日本画を描く。

主に国内や海外の公募展へ出展し活動。好きな作家は伊藤若沖。

欧州美術クラブ / JIAS 関連展には 2022 年から毎年出品。2022 年サロン・ドトーヌ初入選。

2023 年ル・サロン初入選、以後毎年入選出品。
同年第 24 回日本・フランス現代美術世界展準大賞。

2025 年第 38 回パリ国際サロン大賞ほか多数。

インタビューは一部抜粋です
全文はホームページ
にて公開しています

第26回 日本展・フランス現代美術世界展　大賞

大賞受賞インタビュー：瀬野　清　　SENO　Kiyoshi

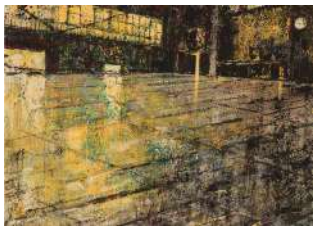
大賞受賞作品　瀬野　清　「３・１１・忘れ得ぬ光景１（冬の向日葵）」油彩　91.6 × 66.4

＜大賞受賞について、率直な感想をお聞かせください＞

とても嬉しく、感激しています。特に今回の日本・フランス現代美術世界展では、テーマを「３・１１忘れ得ぬ光景」と決めて、＜エスパス・プリヴィエ＞に5点の作品を出品しました。
その中の「冬の向日葵」が大賞に選ばれたことで、私にとって記念すべき作品となったとともに、忘れられない展覧会となりました。

＜受賞作品制作時のエピソードをお聞かせください＞

東日本大震災のあった年2011年の11月に、私は東松島市の野蒜というところに行きました。JR野蒜駅前でバスから降りて、先ず私の目の前に現れた光景が作品「埋もれたレール」です。それから歩いて、ちぎれた遮断機をわたってたどり着いて見た光景が作品「残像~ある小学校の体育館」です。野蒜小学校の体育館です。体育館の時計は、大震災のあった午後2時46分を少し過ぎたところで止まっていました。今も目に焼きついています。



「３・１１・忘れ得ぬ光景３（残像~ある小学校の体育館）」
油性　64.8 × 91.6

「３・１１・忘れ得ぬ光景２（埋もれたレール）」
油性　74.4 × 92.2

それから私は海の方へ歩いていきました。どれほど歩いたか、何時間歩いたかわからなくなっている時に、ふと気がつくと目の前に、向日葵が枯れたままま っすぐに立っていたのです。荒涼とした冬の空に立つ向日葵は、あの運慶・快慶・定慶の金剛力士像のように見えました。「向日葵の　仁王のごと立つ　冬の浜」と日記に書きました。その向日葵を描いたのが大賞受賞作品「冬の向日葵」です。

私は制作にとりかかる時、まず対象となるものの画像やラフスケッチ、メモ、参考とすべき過去作品などを新聞紙に貼り付けてビジョンをつくります。私はこれを「情感図」と呼んでいます。これは毎回（毎朝）制作する度に更新し、それを持って描き続けて完成に近づけていきます。「冬の向日葵」の制作で一番苦労した点は何かと言えば、迫真性と美しさです。つまり迫真性のある美しさをいかに表現するかという点です。
私の場合、苦労と「上手くいった感」は表裏一体で、毎回制作終わりは「上手くいった感」を持って終わるようにしています。しかしそうならない時や昨日上手くいったと思っていたのに、今朝見たらダメだと感じることがよくあります。悪戦苦闘しながら描いているわけです。そんな時は、「情感図」をつくりかえて、新鮮な気持ちでになって描いていき、完成に近づけていきます。

＜今後の目標や抱負、挑戦してみたいことなどは？＞

私は現在ガン治療を受けながら、米を作り、作品を作っています。「うまず、たゆまず、無理をせず」を信条に、これからも頑張って いきたいと思っています。耕運機が動かせる限り米を作り、喜怒哀楽の感覚がある限り作品を作り続けていくつもりです。あの北斎は 富嶽百景のあとがきで「…八十六才にして益々進み、九十才にして なお、その奥意を極め、一百歳にして正に神妙ならんか、百有十才にしては一点一格にして生きるがごとくならん…」と記しています。神妙とはどんなものかわかりませんが、もし今自分がやっていることが神妙への道につながるのであれば、うまずたゆまず無理をせず 歩みつづけて、やがて神妙の域にたどりつき、そこで神妙の境地に 浸りたいものです。故ロジェ・ブイヨ氏に2014年パリ国際サロンの寸評で「豊かさ、複雑な精神性、ヒューマニストに通じる魂の高潔さを感じる」と評 していただきました。そして、ジョセ・ティボ氏は2024年パリ国 際サロン「黒い向日葵」の寸評で「真のアーティストの仕業を魅せ る偽りのないキャンバスである」と評されました。これらの寸評の 言葉が私の心の奥まで刻み込まれています。私は「ヒューマニスト に通じる魂の高潔さ」と「真のアーティスト」をめざして、歩みつ づけていきたいと思っています。それが神妙につながる道だと信じています。

＊本記事は一部抜粋しています。全容は右下のQRコードより閲覧ください

（左）アトリエの風景・（右）ロング作品の制作風景

瀬野　清　プロフィール

三重県松阪市生まれ。
JIAS会員/NEPU会員/サロン・ドトーヌ会員

1972年から2009年まで京都府舞鶴市で中学校美術教員を勤め、退職と同時に制作活動と米作りに専念現在に至る。

＜受賞歴＞
2009～2011　ドローイング・デッサン・版画コンクールにて銅賞、金賞を連続受賞
2013～2025　サロン・ドトーヌ13回連続入賞
2015　ベルギー・オランダ美術賞展にてパリ国際サロン受賞
2017　イタリア美術賞展にて準大賞受賞
2018　ル・サロン初入賞～2026年までに全6回入賞
2019　ル・サロン「メンション」選出　※今後の入賞候補者としてフランス芸術家協会が奨励作家として選出
2021　スペイン美術賞展にて優秀賞受賞

パリ国際サロンにて：大賞(2021)、NEPU賞(2022)、優秀賞(2023・25)、ユニベール・デザール賞(2024)受賞

日本・フランス現代美術世界展にて：サロン・ドトーヌ賞(2022)、優秀賞(2023)、大賞(2017・25)受賞

インタビューは一部抜粋です
全文はホームページ
にて公開しています

JIAS日本国際美術家協会員紹介　都道府県別

日本全国津々浦々より、182名のJIAS会員が共に歩みを進めています。公式ホームページでは、作品画像付きで会員名簿を掲載。展覧会やJIAS総会などを介し、作家間の繋がりを広げ、さらに交流を深めていただけましたら幸いです

公式ホームページ：https://www.obijias.co.jp/jias/

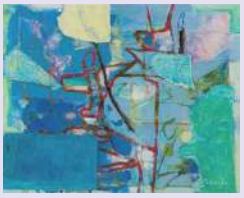
akiyooshi	北海道
杏樹	北海道
来生　亜子	北海道
村上　里紗	北海道
石澤　暁夫	青森県
青木　久美	岩手県
藤澤　秀太郎	岩手県
米谷　易寿子	岩手県
二宮　柊子	岩手県
根田　穂美子	秋田県
田村　康夫	秋田県
筒井　義明	秋田県
渡辺　順子	山形県
大波　天久	福島県
青山　和代	茨城県
別府　忠雄	茨城県
芳賀　昭	栃木県
浜田　無文	栃木県
中村　賢二	栃木県
根岸　君子	栃木県
杉本　美知子	群馬県
新井　三郎	埼玉県
河野　美茜	埼玉県
河内　美穂	埼玉県
倉田　タカユキ	埼玉県
松澤　恵子	埼玉県
中山　久乃	埼玉県
大久保　信子	埼玉県
竹中　桂子	埼玉県
竹中　義彰	埼玉県
吉田　有美子	埼玉県
石井　涼	千葉県
牧山　勝美	千葉県
大和田　明代	千葉県
白沢　清	千葉県
Yoshie	千葉県
阿部　朱華羅	東京都
安藤　愛実	東京都
在原　億	東京都
元心	東京都
五島　アサミ	東京都
葉山　澄子	東京都
林　朋香	東京都
土方　智香子	東京都
HIRATA Tatsuya (BOSCO)	東京都
弘岡　泰正	東京都
堀口　康弘	東京都
井出　和之	東京都
今井　みどり	東京都
石田　正道	東京都
石井　恵童	東京都
岩瀬　恵美子	東京都
K. Rino	東京都
亀島　利子	東京都
岸　甫	東京都
小林　翔己	東京都
河野　正子	東京都
小屋　夢櫻	東京都
前田　陽子	東京都
三橋　直之	東京都
永瀬　ひとみ	東京都
中村　マヤ	東京都
野川　葵	東京都
小野　蓮月	東京都
太田　士朗	東京都
大竹　和香子	東京都
島野　栄子	東京都
清水　美奈子	東京都
杉浦　美代子	東京都
鈴木　絢子	東京都
鈴木　美登里	東京都
髙橋　文子	東京都
高橋　美香子	東京都
津田　孝子	東京都
津江　三千子	東京都
宇野　和子	東京都
渡辺　白游	東京都
山田　卓	東京都
吉田　政巳	東京都
吉田　幸子	東京都
吉岡　徹	東京都
安　東淑	神奈川県
べい　米翔	神奈川県
船田　春光	神奈川県
宝閣　和子	神奈川県
加藤　篤弘	神奈川県
木村　凛	神奈川県
成田　雅子	神奈川県
大和田　いずみ	神奈川県
さかもと　未明	神奈川県
佐藤　穎	神奈川県
丹波　宏之	神奈川県
谷合　弥代美	神奈川県
吉村　忠司	神奈川県
片野　栄子	新潟県
中地　高子	新潟県
寶田　佳園	富山県
河﨑　春代	石川県
青山　繁	福井県
桑原　知教	山梨県
渡辺　勝俊	山梨県
池本　孝	長野県
字遊人　龍月	長野県
奥田　雪月湖	長野県
志賀　勇司	長野県
川島　正行	岐阜県
宮向井　勇	岐阜県
横山　弥生	岐阜県
加藤　由利子	静岡県
清水　朱舟	静岡県
杉本　秀子	静岡県
浅井　禾泉	愛知県
林　陽子	愛知県
梶　浩二	愛知県
幸村　泰子	愛知県
坂本　レイコ	愛知県
高嶋　公康	愛知県
吉橋　洋子	愛知県
森川　眞理子	三重県
藤崎　世佑子	滋賀県
永谷　彰朗	滋賀県
石田　和子	京都府
松田　彩子	京都府
小野　功夫	京都府
太田　りかこ	京都府
瀬野　清	京都府
鈴木　虚中	京都府
萩尾　浩幸	大阪府
東野　穂澄	大阪府
乾　順久	大阪府
北村　良太	大阪府
Kyoko　Baaba	大阪府
中屋敷　雅也	大阪府
大内　健一	大阪府
塩江　義宏	大阪府
伴　直子	兵庫県
小村　順	兵庫県
中野　昇二郎	兵庫県
小畑　敦子	兵庫県
津田　みちる	兵庫県
安原　智代呼	兵庫県
岩谷　富男	奈良県
宮西　孝二郎	奈良県
新谷　晶	奈良県
門永　哲郎	鳥取県
梶田　幹穂	島根県
陶山　広之	島根県
大羽　裕也	岡山県
手島　規子	岡山県
畠山　法子	広島県
日野 千鶴	広島県
児玉　伸子	広島県
久間　祐子	広島県
篠原　文子	広島県
外山　昇	広島県
村上　智子	山口県
保田　昌子	山口県
槙本　良平	徳島県
田代　浩子	徳島県
杉脇　史彩	愛媛県
伊藤　玉苑	福岡県
岩本　依子	福岡県
城　英巳	福岡県
栗原　光峯	福岡県
桑名　涼苑	福岡県
宮本　慶子	福岡県
森　修	福岡県
中村　白蘭	福岡県
小野原　桐花	福岡県
太田　峡花	福岡県
髙橋　通泰	福岡県
山川　光石	福岡県
鶴丸　澪子	佐賀県
上田　久世	佐賀県
1k2an　辻　一寛	熊本県
蔵本　朝美	熊本県
吉井　悦志子	大分県
阿万　孝司	宮崎県
朱佳	宮崎県
井口　直也	沖縄県
運天　一恵	沖縄県
與那嶺　幸也	沖縄県

182 名（2026.05.15 現在）

2026 年 JIA 新会員　ようこそ！JIAS へ

■ 2026 年 JIAS 会員に入会された新会員です。　2026 年 3 月末現在　（順不同）

akiyooshi （北海道）



青山　和代 （茨城県）

日野　千鶴 （広島県）

津田　孝子 (東京都)

新谷　昌 （奈良県）

浜田　無文 （栃木県）

寶田　佳園 （富山県）

弘岡　泰正 （東京都）

字遊人　龍月 （長野県）

2025 年の関連展で入賞された会員と作品ご紹介

2025 年 JIAS/ 欧美関連展で 40 名の JIAS 会員の方が様々な賞を受賞されました。
別添「2025 年 JIAS/ 欧美関連展　受賞者　JIAS 会員一覧」にて、作品とあわせてご紹介します。

受賞された JIAS 会員の皆さま、おめでとうございます！

2 月開催　ル・サロン 2025
銅賞受賞　べい米翔氏ほか、今後の入賞（金・銀・銅賞）候補として、
ル･サロンを主催するフランス芸術家協会が認識した旨を表する奨励賞の位置付ける「MENTION（メンション）」に 2 名が輩出されました。

3 月開催　第 38 回パリ国際サロン 2025
大賞受賞　加藤由利子氏ほか、　計 14 名入賞

8 月開催　第 26 回日本・フランス現代美術世界展 2025
大賞受賞　瀬野　清氏ほか　計 28 名入賞

オンラインでも様々な形式で入賞作家を掲載

大賞受賞者、およびNEPU代表作家などへのインタビューはホームページでも公開。
各展覧会報告ページでは全ての入賞作品を紹介しています。
本紙面にて紹介しきれなかった入賞作家･優秀賞インタビュー等はSNS
にて順次発信する予定です。

JIAS 日本国際美術家協会名簿

JIAS 会員はホームページにて名簿を掲載しております。
名簿内にご自身で運営のホームページ等のリンクを貼ることが
できますので、ご希望の方はお気軽に事務局までご連絡ください。

Facebook　JIAS日本国際美術家協会

2025 年 JIAS 総会報告

日時：2025 年 8 月 8 日（金）
会場：国立新美術館　講堂

2025 年 8 月 8 日（金）、国立新美術館内講堂にて、2025 年度 JIAS 日本国際美術家協会（以下、JIAS）総会が開催された。当日、27 名の会員が出席。出席者ならびに委任数過半数を超えたため、本総会は成立。議長に船田春光氏、副議長に岸甫氏が拍手をもって選出、承認され、自由な意見交換がなされた本総会は予定より 15 分延長して終了した。

※次回総会について
2026年度JIAS定時総会は、第27回日本・フランス現代美術世界展会期にあわせ、2026年8月7日(金)の開催を予定しております。日時の詳細は同封の「2026年度JIAS総会開催のお知らせ」をご確認ください。

会員個々の活動について

JIAS会員の個展やグループ展など、主催展以外の活動をJIASホームページ、Facebookなどでも広報しています。個展やグループ展などのご予定がありましたら、お気軽に事務局までお伝えください。

※開催の2週間前までには事務局へハガキ・メール等でご連絡ください

2026 年 JIAS 活動内容・予定

主な JIAS 関連の活動予定年間スケジュールです。展覧会開催時には、SNS やホームページを活用し、リアルな現地情報をお届け致します。会員各位の積極的な応募・参加をお待ちしております。

ル・サロン 2026（主催：フランス芸術家協会）

会期：2026年2月13日（金）～ 15日（日）
＊2月12日（木）はベルニサージュ
会場：パリ市 グラン・パレ

第 39 回パリ国際サロン / ドローイング・版画コンクール

会期：2026年 4月2日(金)～5日(日)
会場：パリ市 バスティーユ・デザイン・センター
＊３月 26 日（木）～ 29（日）まで、本展協賛ギャラリー・デュ・マレによる日本・フランス展開催

第 27 回日本・フランス現代美術世界展 2026

会期：2026年8月6日（木）～8月16日（日）
会場：東京・国立新美術館３A・３B展示室

サロン・ドトーヌ 2026（主催：サロン・ドトーヌ協会）

会期：2026年10月28日（水）～11月1日（日）
＊10月27日(火)はベルニサージュ
会場：パリ市コンコルド広場内大型パビリオン(特設会場)

◆規約ダウンロードについて

各展覧会の規約は、ホームページの資料請求後、ダウンロードが可能です。応募締切が過ぎていても、前年の規約を参考にできるので、ご興味のある展覧会は前年度規約をダウンロードいただき、ご参考になさってください。

◆e-mailについて

規約ご希望の方はE-mailでも承っております。
事務局までお気軽にご請求ください。

◆郵送での規約お届け削減について

2024年10月からの郵便料金高騰に伴い、新規の規約のお届けについて、これまで郵送でご案内していた方にも、E-mailでご案内させて頂く場合がございます。応募申込方法も従来の郵送に加え、オンラインフォームの設置など、情勢にあわせ臨機応変に対応して参ります。
皆さま、ご協力の程よろしくお願い致します。

訃報

2025 年 10 月 31 日、長年に渡り JIAS 会員として JIAS/ 欧美の活動に尽力くださいました。TAGO 顎氏 がご逝去されました。氏は 1990 年代より美術賞展、日本・フランス現代美術世界展を中心に国内外でご活躍されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「刻　7820」油彩 50P

東日本大震災被災地支援チャリティー

「陸前高田の絵の好きなこども達へ画材を贈るプロジェクト」
2011 年から活動しているこのプロジェクトは、引き続き皆さまのご支援をお待ちしていますご支援をお待ちしております。

【陸前高田の絵の好きなこどもたちに画材を送るプロジェクト】
銀行振込・郵便振替・現金書留にて受付けております
★銀行振込:
　−みずほ銀行　　日本橋支店　普)1634027　欧州美術クラブ
　−三菱東京UFJ銀行 日本橋支店　普)0128429　欧州美術クラブ
★郵便振替:記号)10100（番号)77876481　欧州美術クラブ
★現金書留:欧州美術クラブ
　「陸前高田の絵の好きなこどもたちに画材を送るプロジェクト」係宛

2026年 5月発行　2026年臨時特集号　JIAS 日本国際美術家協会　https://www.obijias.co.jp/jias
展覧会資料はホームページより資料請求できます
発行元 JIAS 日本国際美術家協会　103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-5-15 吉川ビル 3F 欧州美術クラブ内　03-3279-3101 otoiawase@obijias.co.jp